

# JIS

## 量及び単位－第 6 部：電磁気

JIS Z 8000-6：2014

(IEC 80000-6：2008)

(JSA)

平成 26 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	稲 葉 敦	工学院大学
(委員)	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
	大 橋 守	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	金 丸 淳 子	公益財団法人共用品推進機構
	河 村 真紀子	主婦連合会
	窪 塚 孝 夫	公益社団法人自動車技術会
	高 久 昇	一般財団法人日本規格協会
	田 中 護 史	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	土 肥 義 治	独立行政法人理化学研究所
	中 西 英 夫	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	野 口 祐 子	森・濱田松本法律事務所
	長谷川 英 一	一般社団法人電子情報技術産業協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 26.3.20

官 報 公 示：平成 26.3.20

原 案 作 成 者：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文 .....	1
0.1 表の配列 .....	1
0.2 量の表 .....	1
0.3 単位の表 .....	1
0.4 この規格における数値の記述 .....	2
0.5 特記事項 .....	3
1 適用範囲 .....	3
2 引用規格 .....	3
3 名称, 記号及び定義 .....	4
附属書 A (参考) 特別な名称をもつガウス系 CGS 単位 .....	28
解 説 .....	29

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 8202-5:2000** は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS Z 8000** の規格群には、次に示す部編成がある。

- JIS Z 8000-1** 第 1 部：一般
- JIS Z 8000-3** 第 3 部：空間及び時間
- JIS Z 8000-4** 第 4 部：力学
- JIS Z 8000-5** 第 5 部：熱力学
- JIS Z 8000-6** 第 6 部：電磁気
- JIS Z 8000-7** 第 7 部：光
- JIS Z 8000-8** 第 8 部：音

## 量及び単位—第 6 部：電磁気

### Quantities and units—Part 6: Electromagnetism

#### 序文

この規格は、2008 年に第 1 版として発行された IEC 80000-6 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

#### 0.1 表の配列

この規格の量及び単位の表は、量を左側のページに配列し、単位を対応する右側のページに配列する。右のページの 2 本の横実線の間にある全ての単位は、左側ページの対応する実線の間の方に属する。

左側のページの量を表す番号の下には、括弧を付けて旧規格 (JIS Z 8202-5) で規定した項目の番号を示す。

なお、旧規格にその項目がなかった場合には、“— (ダッシュ)” でそのことを示す。

#### 0.2 量の表

この規格で扱う分野において最も重要な量について、その名称及び記号を示すとともに、ほとんどの場合に、その定義を併せて示す。これらの名称及び記号は、推奨である。これらの定義は、国際量体系 (ISQ) における量の識別のためであり、左側のページに列挙している。これらの定義は、必ずしも完全なものではない。

量のスカラー文字、ベクトル文字又はテンソル文字は、特に定義のために必要な場合に示している。

多くの場合、ある量に対しては一つの名称と一つの記号とを示す。一つの量に対して二つ以上の名称又は二つ以上の記号を併記し、特に区別をしていない場合には、互いに対等な関係にある。斜体の文字に 2 種類の字体がある場合 (例えば、 $g$  及び  $\theta$ 、 $\varphi$  及び  $\phi$ 、 $a$  及び  $a$ 、 $g$  及び  $g$ )、いずれか一方だけを示しているが、他方は対等に使用できないという意味ではない。このような異なる字体にそれぞれ異なる意味を与えないことを推奨する。括弧内の記号は、予備の記号である。したがって、特別の関係の下で主要記号を異なる意味で用いる場合には、これら予備の記号を用いる。

#### 0.3 単位の表

##### 0.3.1 一般

量に対する単位の名称を、記号及び定義とともに示す。これらの単位の名称は言語によって異なるが、記号は国際的なものであり、また、全ての言語において同一である。詳細情報については、国際度量衡局 (BIPM: Bureau International des Poids et Mesures) から発行されている SI 文書 (2006 年第 8 版) 及び JIS Z 8000-1 を参照する。